

新基地の滑走路は二二〇〇坪と普天間の二八〇〇坪より短く、米軍は、民間施設（那覇空港）の使用を求めているとのこと。「米側との協議また内容の調整が整わなければ、返還条件が整わず、（普天間基地は）返還されないことになる」（二〇一七年六月十五日 参院外交防衛委員会での稲田防衛大臣発言）。こんな馬鹿な話があるか！

昨年十二月十四日から防衛省は、琉球セメントの岸壁から土砂を積み込み、辺野古南岸に投入しているが、これは明らかに工事の変更であり、知

事の許可なしにはできない。

このように、違法だろうがなんだろうがお構いなしの強引なやり方で、軟弱地盤や活断層の存在する超難関工事を、「膨大」と言うには余りにも大きすぎる国家予算をつぎ込んで、いつまでも続けられるわけがない。私たちが闘い続けるならば、基地建設は必ず阻止できると思うのは私だけではないだろう。

*ご存じの方も多いと思いますが、辺野古・高江の日々の出来事は、ブログ「チョイさんの沖縄日記」を読むとよくわかります。

組合つぶしの権力弾圧に反撃を！
元旦行動に二〇〇人結集
昌一金属支部 K

昨年の大阪府警による関生支部への不当弾圧に對して、一月一日の一日から、大坂城の教育塔前で「労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会」が主催する集会、府警本部を一周するデモが開催されました。現地には、二〇〇人を超える仲間が結集し、大成功の集会&デモになりました。不当拘留の仲間の早期奪還へ、共に闘おう！



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！